

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2017年第38週
(9月18日～9月24日)

- * 2017年9月27日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業の有効活用」も掲載しています。

平成29(2017)年9月28日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2017年38週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		35週	36週	37週	38週	年累計	38週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	79	70	74	57	2,466	320	16,421
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
鳥インフルエンザ(H7N9) ^{*3}								
三類	コレラ				1	2	1	7
	細菌性赤痢	2		1	1	28	7	115
	腸管出血性大腸菌感染症	36	30	28	21	409	112	3,093
	腸チフス				1	8		27
	パラチフス			1		6		12
四類	E型肝炎	2	1		1	47	2	238
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎			1	1	54	6	215
	エキノコックス症					1		20
	黄熱							
	オウム病							10
	オムスク出血熱							
	回帰熱					1		5
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		1
	サル痘							
	ジカウイルス感染症 ^{*4}							3
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*5}							73
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							2
	炭疽							
	チクングニア熱					2		3
つつが虫病					3	1	112	
デング熱	3	3	3	2	54	9	187	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*3 2013年より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*4 2016年2月15日より新たに追加指定された。

*5 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		35週	36週	37週	38週	年累計	38週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	9	236
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症					1		3
	マラリア	3	3			21		44
	野兔病							
	ライム病					1		18
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽					1		1
レジオネラ症	7	3	3	2	109	30	1,228	
レプトスピラ症		2	1		6	1	27	
ロッキー山紅斑熱								
2017/9/27集計								

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 57件 患者および感染症死亡者の死体 40件(肺結核 28件、その他の結核 11件、肺結核及びその他の結核 1件)、無症状病原体保有者 17件、年齢は20代 10件、30代 4件、40代 9件、50代 4件、60代 6件、70代 12件、80代 10件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 51件、インド 1件、モンゴル 1件、ロシア又はオーストラリア 1件、不明 3件であった。

〈三類感染症〉

コレラ 1件 患者、血清型・抗原型はO1小川型、年齢は40代、推定感染地はインド、推定感染経路は経口感染であった。

細菌性赤痢 1件 患者、菌種はソルネ、年齢は20代、推定感染地はモルディブ、推定感染経路は経口感染であった。

腸管出血性大腸菌感染症 21件 患者 14件(うちHUS 1件)、無症状病原体保有者 7件、血清型・毒素型はO26 VT1・VT2 1件、O111 VT型不明 1件、O157 VT1・VT2 11件、O157 VT2 6件、O157 VT型不明 1件、血清型不明VT2 1件、年齢は10歳未満 3件(うち5歳未満 2件)、10代 3件、20代 7件、30代 2件、40代 2件、50代 2件、70代 2件、推定感染地は国内 20件、国内又はベトナム 1件、推定感染経路は経口感染 10件、接触感染 2件、不明 9件であった。

腸チフス 1件 患者、年齢は10歳未満、推定感染地はパキスタン、推定感染経路は経口感染であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 患者、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

A型肝炎 1件 患者、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

デング熱 2件 患者、病型はデング熱 2件、血清型は不明 2件、年齢は20代 2件、推定感染地はインドネシア又はタイ又は台湾又はラオス又はミャンマー又はマレーシア 1件、タイ又はマレーシア 1件であった。

レジオネラ症 2件 病型は肺炎型 2件、年齢は70代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は塵埃感染 1件、不明 1件であった。

※ 第37週該当分として〔三類〕腸管出血性大腸菌感染症 1件の追加報告があった。

※ 第37週該当分として〔四類〕レジオネラ症 1件の追加報告があった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2017年38週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		35週	36週	37週	38週	年累計	38週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	3	4	4	1	148	6	779
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	3	1		3	48	2	214
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5	2	5	4	152	22	1,174
	急性脳炎 *1	1	5		2	55	3	516
	クリプトスポリジウム症			1		1		9
	クロイツフェルト・ヤコブ病					13	3	149
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1			53	5	407
	後天性免疫不全症候群	10	9	5	5	341	16	1,006
	ジアルジア症		1	1		21		45
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1			41	1	271
	侵襲性髄膜炎菌感染症					2		20
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		4	4	304	18	2,378
	水痘(入院例に限る)	1				37	2	218
	先天性風しん症候群							
	梅毒	55	38	39	12	1,295	55	4,086
	播種性クリプトコックス症				1	11		94
	破傷風			1		4	3	97
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				7	1	62
	風しん	1	3	1	1	20	2	67
麻しん					26		176	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					2		17	

2017/9/27集計

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 1件 病型は腸管、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

ウイルス性肝炎 3件 B型 3件、年齢は20代 1件、30代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、韓国 1件、推定感染経路は性的接触 3件(同性間 1件、性別不明 2件)、B型肝炎ワクチン接種歴は無し 2件、不明 1件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 4件 患者 4件、病原菌はエンテロバクター・クロアカ 1件、エンテロバクター属菌 1件、シトロバクター・フロインディ 1件、大腸菌 1件、年齢は5歳未満 1件、40代 1件、60代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路・原因は医療器具関連感染 1件(尿路カテーテル)、以前からの保菌 1件、抗菌剤長期利用 1件、不明 1件、90日以内の海外渡航歴は無し 4件であった。

急性脳炎 2件 病原体はRSウイルス 1件、エンテロウイルス 1件、年齢は5歳未満 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、接触感染 1件であった。

後天性免疫不全症候群 5件 AIDS 1件、無症候キャリア 4件、性別は男性 5件、AIDS患者の年齢は60代、無症候キャリアの年齢は20代 2件、30代 2件、推定感染地は国内 4件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 4件(同性間 3件、異性間 1件)、不明 1件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 4件 血清型はすべて検査未実施、年齢は10歳未満 1件、50代 1件、60代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は不明 4件、肺炎球菌ワクチン接種歴は価数不明2回接種済み 1件、無し 2件、不明 1件であった。

梅毒 12件 患者 8件(早期顕症梅毒Ⅰ期 5件、早期顕症梅毒Ⅱ期 2件、晩期顕症梅毒 1件)、無症候梅毒 4件、性別は男性 7件、女性 5件、年齢は20代 3件、30代 4件、40代 3件、50代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 12件、推定感染経路は性的接触 11件(同性間 2件、異性間 9件)、不明 1件であった。

播種性クリプトコックス症 1件 患者、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染原因は免疫不全(ネフローゼ症候群)であった。

風しん 1件 臨床診断例、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

※ 第37週該当分として〔五類〕侵襲性肺炎球菌感染症 1件、梅毒 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2017年38週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2017年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		35週	36週	37週	38週		
小児科	RSウイルス感染症	822 3.17	786 3.03	659 2.55	441 1.69	261	264
	咽頭結膜熱	121 0.47	114 0.44	114 0.44	88 0.34		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	278 1.07	359 1.39	410 1.59	318 1.22		
	感染性胃腸炎	872 3.37	907 3.50	931 3.61	710 2.72		
	水痘	34 0.13	51 0.20	50 0.19	43 0.16		
	手足口病	2,168 8.37	1,560 6.02	1,707 6.62	1,075 4.12		
	伝染性紅斑	15 0.06	17 0.07	25 0.10	8 0.03		
	突発性発しん	137 0.53	155 0.60	137 0.53	124 0.48		
	百日咳		3 0.01	3 0.01	1 0.00		
	ヘルパンギーナ	441 1.70	340 1.31	328 1.27	219 0.84		
	流行性耳下腺炎	46 0.18	56 0.22	43 0.17	38 0.15		
	川崎病 ^{*1}	3 0.01	6 0.02	5 0.02	3 0.01		
	不明発しん症 ^{*1}	29 0.11	20 0.08	36 0.14	25 0.10		
	インフル エンザ	インフルエンザ ^{*2}	58 0.14	71 0.17	88 0.21		
眼科	急性出血性結膜炎		1 0.03			38	39
	流行性角結膜炎	30 0.79	33 0.87	19 0.49	15 0.39		
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}	1 0.04		1 0.04	1 0.04	25	25
	無菌性髄膜炎		1 0.04	1 0.04			
	マイコプラズマ肺炎	6 0.24	2 0.08	1 0.04	4 0.16		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	2 0.08		1 0.04			
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}	1 0.04					
	インフルエンザ入院	1 0.04		2 0.08	3 0.12		
2017/9/27集計							

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ 手足口病は定点報告数の減少が見られますが、まだ例年よりも高いレベルが続いており注意が必要です。
- ・ RSウイルス感染症の報告数は減少傾向にありますが、引き続き注意が必要です。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2017年38週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	43			5		12		1			
6～11か月	94	8	1	50	1	112	3	34		17	
1歳	172	15	16	92	3	265	1	65		63	1
2歳	90	9	20	64	4	165	1	16		33	1
3歳	27	13	40	67	5	181		6		27	5
4歳	12	14	44	48	3	117	1	1		21	4
5歳	1	9	35	49	1	82	1	1		18	6
6歳		10	35	43	4	47				12	6
7歳		8	31	34	2	25				7	6
8歳			24	33	12	19				3	3
9歳		1	19	28	5	4				6	3
10～14歳	1	1	29	82	3	16				10	2
15～19歳			4	22		4					
20～29歳	1		20	93		26	1		1	2	1
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	441	88	318	710	43	1,075	8	124	1	219	38
先週比	-218	-26	-92	-221	-7	-632	-17	-13	-2	-109	-5

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月					1						
6～11か月		4	1								
1歳		4	4		2						
2歳		6	4								
3歳	1	2	4					1			
4歳		3	5		1						
5歳	2	1	8		2						
6歳		2	4					1			1
7歳		1	7								
8歳			2								
9歳			1								
10～14歳		1	5					1			
15～19歳			3								
20～29歳		1	5		2						
30～39歳			7		6			1			1
40～49歳			4								
50～59歳			2								1
60～69歳			1		1	1					
70～79歳											
80歳以上											
合計	3	25	67		15	1		4			3
先週比	-2	-11	-21		-4		-1	3	-1		1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数 【保健所別】 2017年38週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田			0.67	0.33		1.67				0.67	
中央区	1.00		0.33	5.33	0.33	7.67		0.67		2.00	
みなと	0.83	0.33	1.17	3.50	0.17	5.33		0.17		1.33	0.50
新宿区	1.50	0.50	2.00	3.25		2.63		0.38		0.75	
文京	1.50	0.25	0.50	4.50		6.00		0.50		0.50	0.25
台東	2.25	0.75	1.00	4.00	0.75	7.75		1.50		0.75	0.25
墨田区	1.00		0.40	1.20	0.20	4.20		0.20			
江東区	1.56	0.33	0.67	4.33	0.11	3.44		0.56		1.11	0.11
品川区	1.38	0.25	0.63	2.38		2.13		0.38		0.63	0.13
目黒区	4.80	0.20	0.80	2.80		3.60		0.40		2.20	0.40
大田区	1.15	0.54	2.00	4.15	0.08	3.54		0.62		0.77	0.15
世田谷	1.31	0.13	1.88	0.81	0.06	4.50		0.19		0.75	
渋谷区	0.25	0.25	0.75	3.00		4.00				0.25	0.25
中野区	2.83	0.67	1.33	4.00		4.67		0.67		0.50	0.17
杉並	2.00			1.60		1.60		0.40		0.50	0.10
池袋	2.00		0.25	1.50	0.50	3.75		0.25		0.50	
北区	0.57		0.43	2.57		2.00		0.14		0.71	
荒川区	4.25	0.75	2.75	2.00		3.00	0.25	1.25		1.00	0.50
板橋区	0.10		0.50	1.30	0.10	4.50	0.30	0.60		0.60	
練馬区	0.69	0.38	1.69	1.85	0.15	5.00		0.62		0.54	0.62
足立	1.46	0.08	0.54	3.92		3.69		0.62		1.08	0.08
葛飾区	0.25	0.13	0.50	4.13	0.38	5.75		0.75		0.88	
江戸川	0.75	0.58	1.33	3.83	0.25	2.83	0.17	0.17	0.08	0.92	0.17
八王子市	4.18	0.82	2.09	4.45	0.18	5.64	0.09	0.55		1.64	0.18
町田市	1.50	0.13	0.63	4.00	0.50	3.88		0.13		0.75	0.25
西多摩	0.75	0.25	0.13	1.38	0.25	2.00				0.25	
南多摩	4.33	0.56	2.00	2.67		5.11		0.56		1.11	0.22
多摩立川	1.29	0.07	0.79	2.14	0.21	4.50		0.36		0.57	0.14
多摩府中	1.90	0.15	0.85	1.80	0.15	4.05	0.05	0.45		1.00	0.10
多摩小平	3.33	1.33	3.60	2.27	0.60	6.40		1.13		1.00	0.07
島しょ			4.00								
東京都	1.69	0.34	1.22	2.72	0.16	4.12	0.03	0.48	0.00	0.84	0.15

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田											
中央区			0.20								
みなと			0.11								1.00
新宿区	0.25										
文京			0.14		1.00						
台東											
墨田区		0.40	0.13		1.00						
江東区		0.33	1.00								
品川区		0.13	0.75								
目黒区		0.40	0.13								
大田区		0.08			0.50						
世田谷		0.25	0.24								0.50
渋谷区					2.00	1.00					
中野区		0.17	0.10		1.00						
杉並											
池袋					2.00			1.00			
北区			0.09								
荒川区											
板橋区		0.30	0.13								
練馬区			0.19								
足立			0.05								
葛飾区											
江戸川	0.08	0.17	0.11		0.50						
八王子市		0.27	0.28		0.50						
町田市			0.15								
西多摩											
南多摩			0.79								
多摩立川					0.50			1.00			
多摩府中			0.14		0.67			0.67			0.33
多摩小平		0.20			1.00						
島しょ											
東京都	0.01	0.10	0.16		0.39	0.04		0.16			0.12

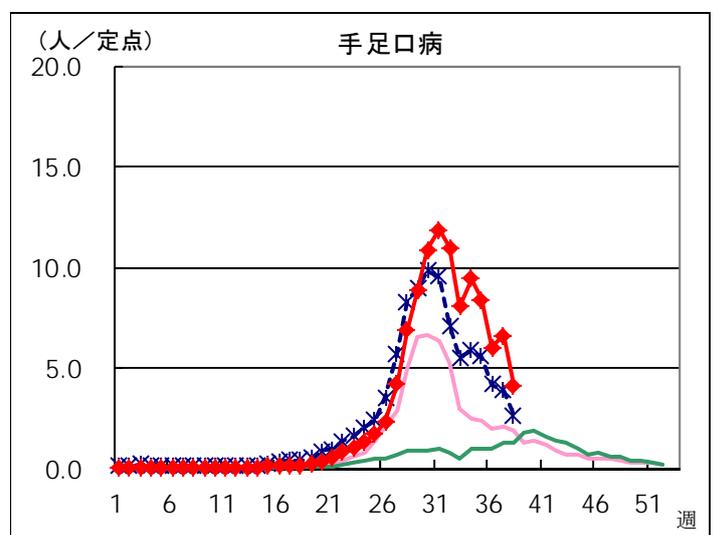
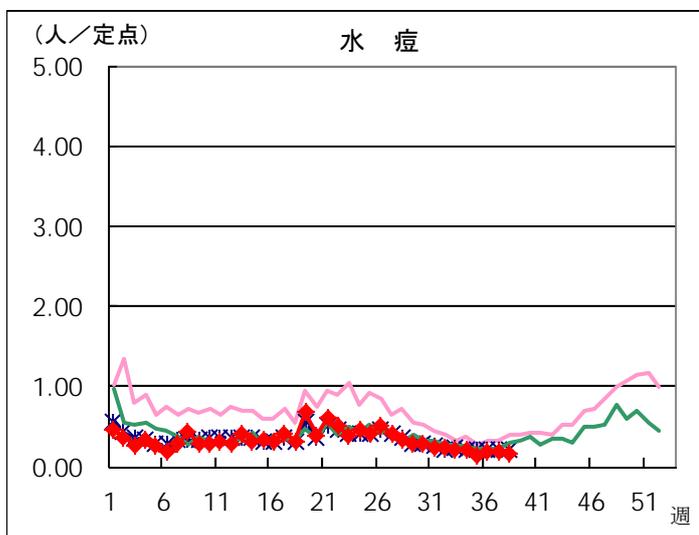
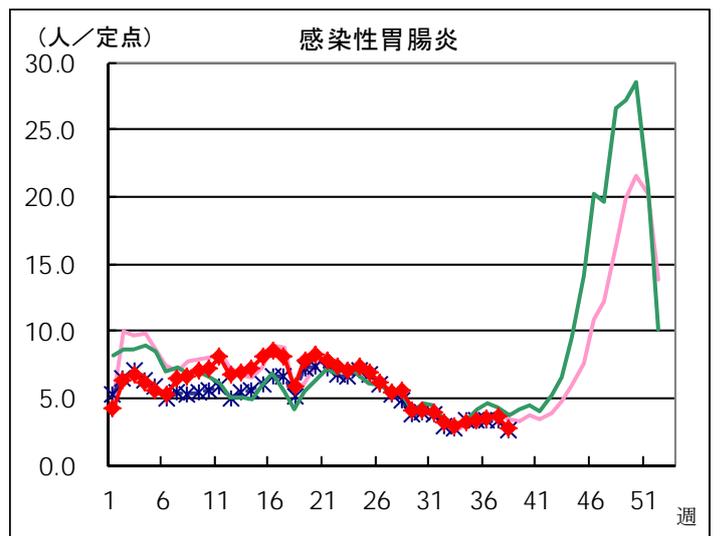
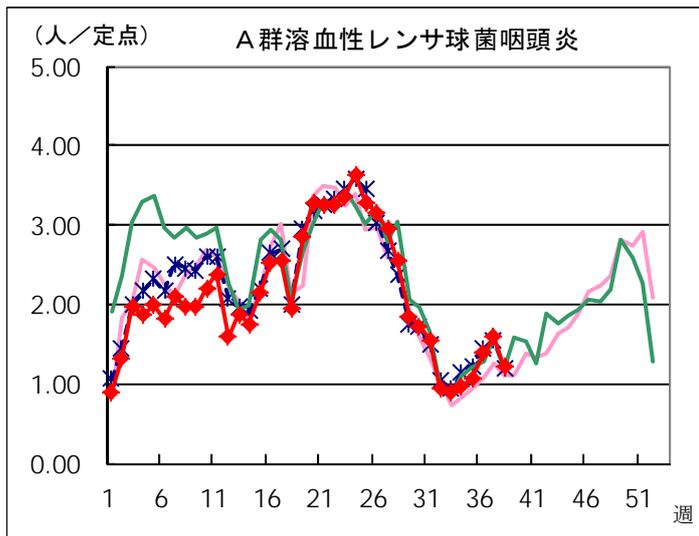
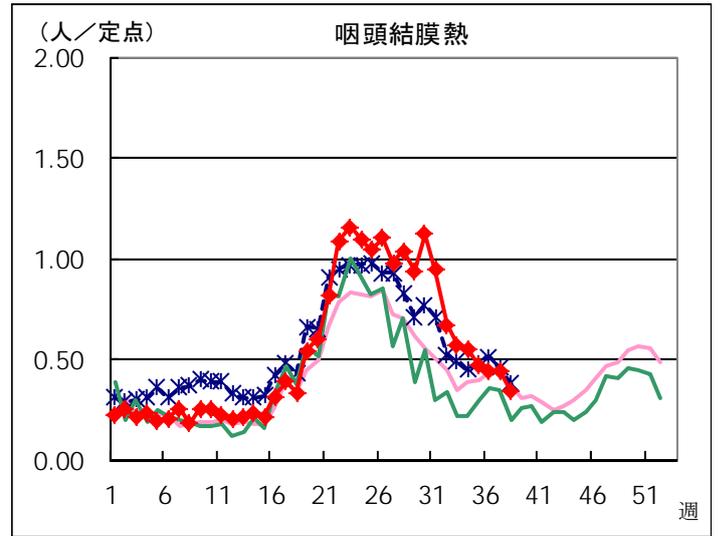
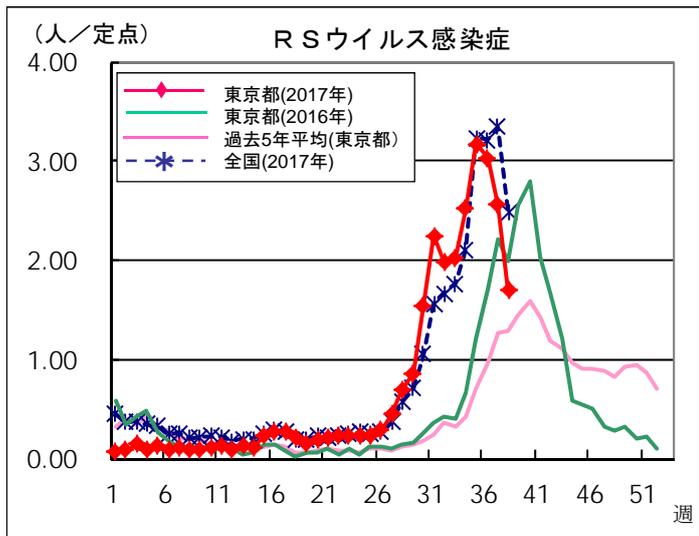
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2017年38週

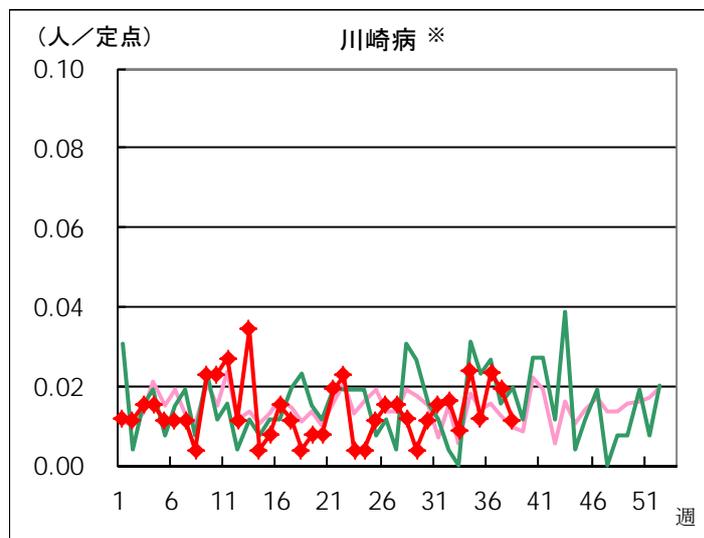
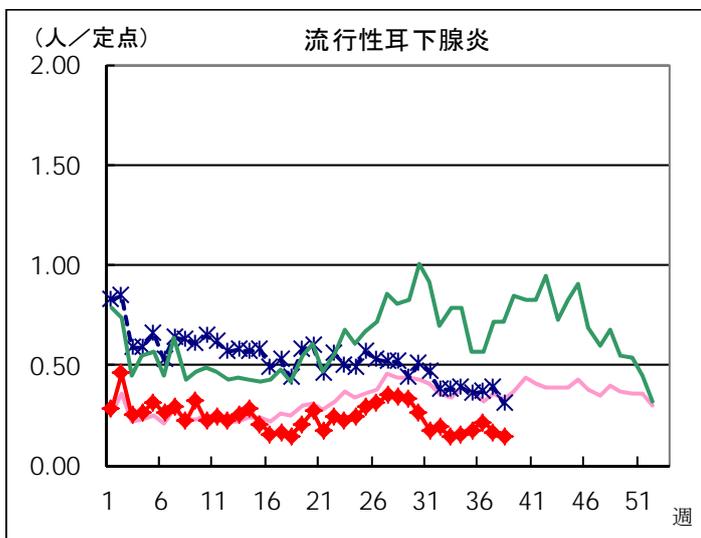
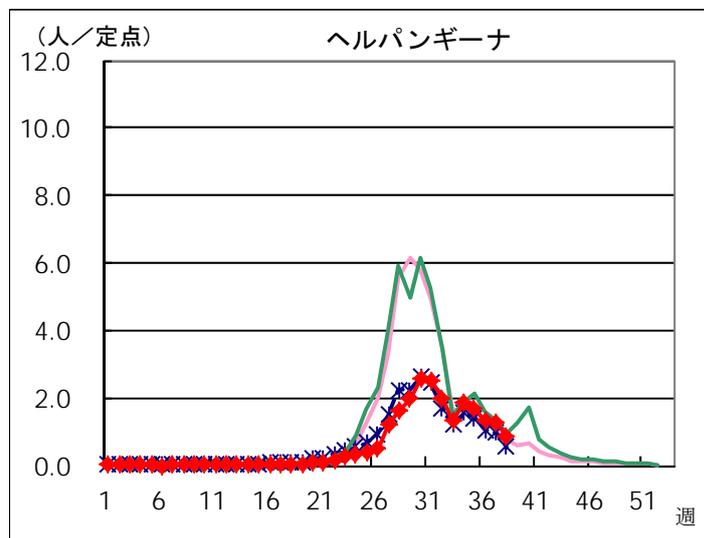
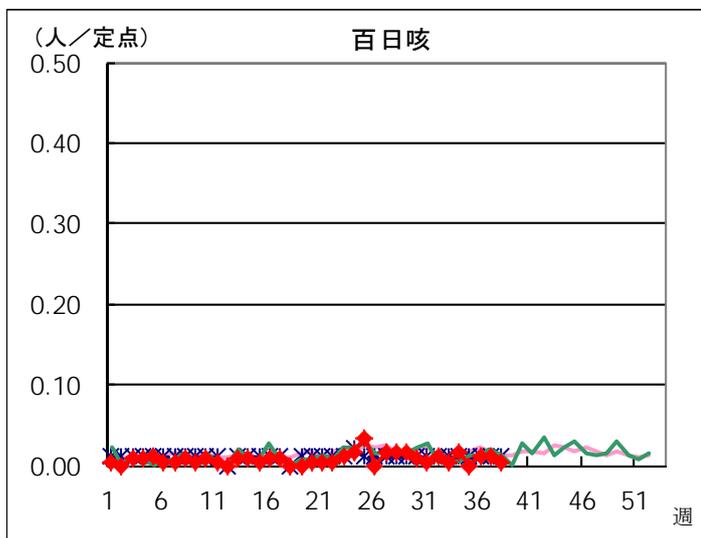
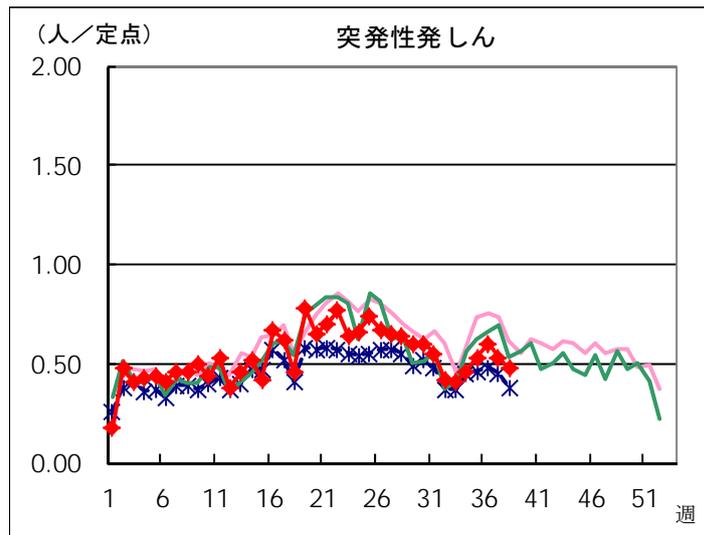
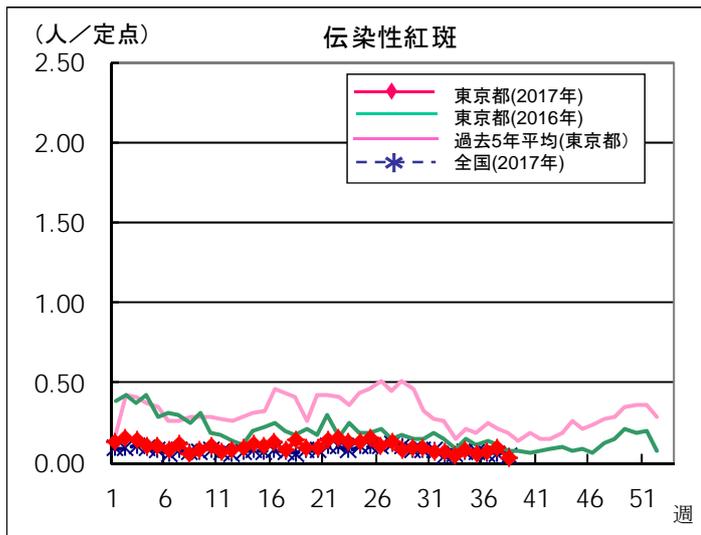
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田			2	1		5				2	
中央区	3		1	16	1	23		2		6	
みなと	5	2	7	21	1	32		1		8	3
新宿区	12	4	16	26		21		3		6	
文京	6	1	2	18		24		2		2	1
台東	9	3	4	16	3	31		6		3	1
墨田区	5		2	6	1	21		1			
江東区	14	3	6	39	1	31		5		10	1
品川区	11	2	5	19		17		3		5	1
目黒区	24	1	4	14		18		2		11	2
大田区	15	7	26	54	1	46		8		10	2
世田谷	21	2	30	13	1	72		3		12	
渋谷区	1	1	3	12		16				1	1
中野区	17	4	8	24		28		4		3	1
杉並	20			16		16		4		5	1
池袋	8		1	6	2	15		1		2	
北区	4		3	18		14		1		5	
荒川区	17	3	11	8		12	1	5		4	2
板橋区	1		5	13	1	45	3	6		6	
練馬区	9	5	22	24	2	65		8		7	8
足立	19	1	7	51		48		8		14	1
葛飾区	2	1	4	33	3	46		6		7	
江戸川	9	7	16	46	3	34	2	2	1	11	2
八王子市	46	9	23	49	2	62	1	6		18	2
町田市	12	1	5	32	4	31		1		6	2
西多摩	6	2	1	11	2	16				2	
南多摩	39	5	18	24		46		5		10	2
多摩立川	18	1	11	30	3	63		5		8	2
多摩府中	38	3	17	36	3	81	1	9		20	2
多摩小平	50	20	54	34	9	96		17		15	1
島しょ			4								
東京都合計	441	88	318	710	43	1,075	8	124	1	219	38

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田											
中央区			1								
みなと			1								1
新宿区	2										
文京			1		1						
台東											
墨田区		2	1		1						
江東区		3	14								
品川区		1	9								
目黒区		2	1								
大田区		1			1						
世田谷		4	6								1
渋谷区					2	1					
中野区		1	1		1						
杉並											
池袋					2			1			
北区			1								
荒川区											
板橋区		3	2								
練馬区			4								
足立			1								
葛飾区											
江戸川	1	2	2		1						
八王子市		3	5		1						
町田市			2								
西多摩											
南多摩			11								
多摩立川					1			1			
多摩府中			4		2			2			1
多摩小平		3			2						
島しょ											
東京都合計	3	25	67		15	1		4			3

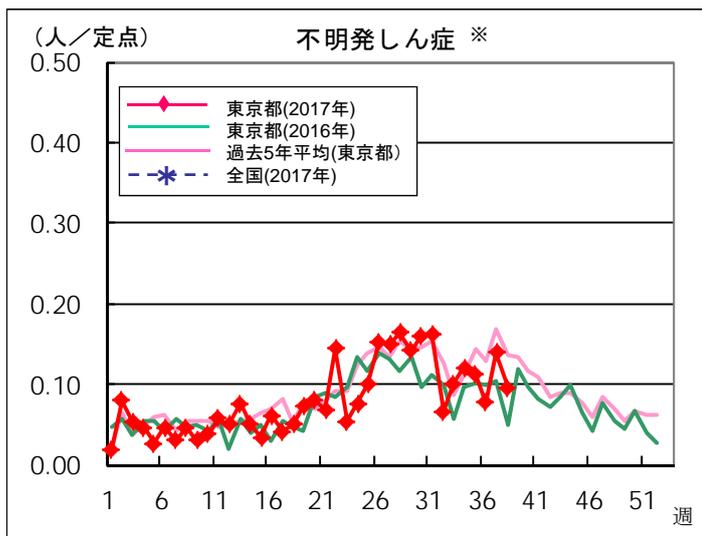
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2017年38週 現在)

◆ 小児科定点



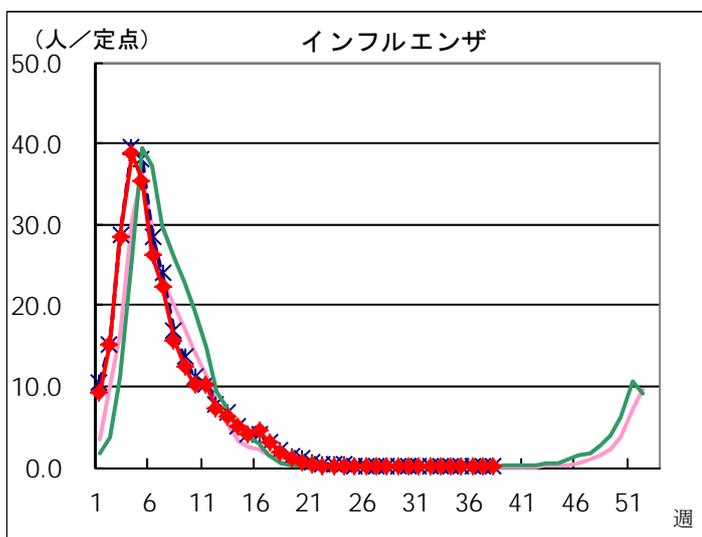


※ 東京都独自対象疾患

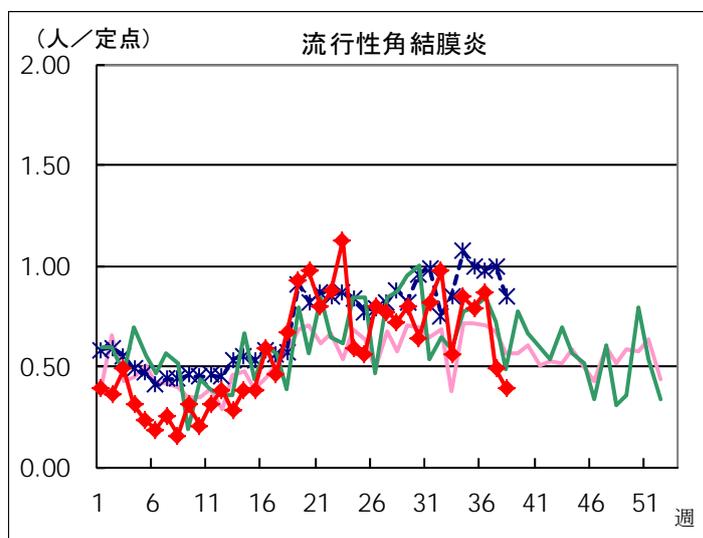
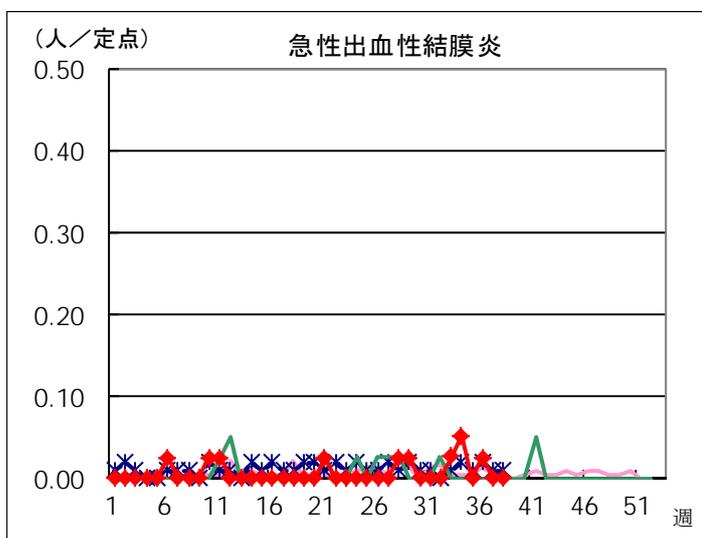


※ 東京都独自対象疾患

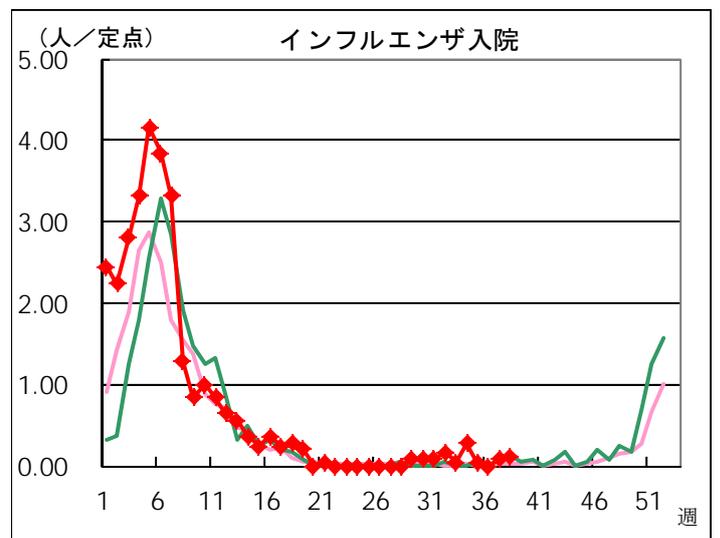
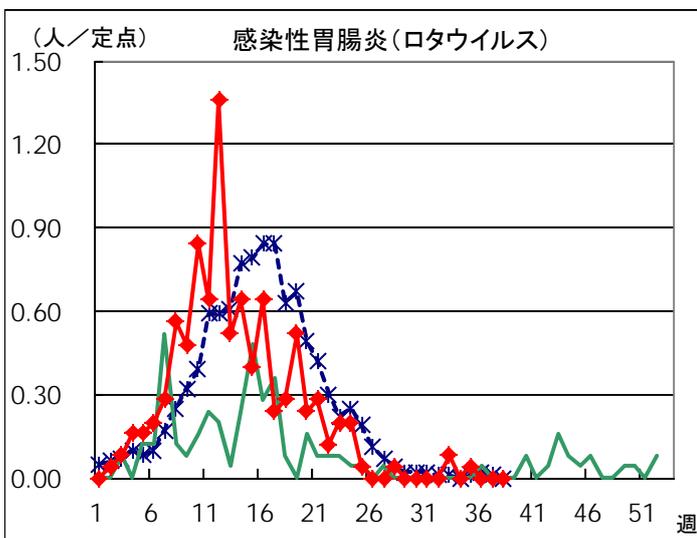
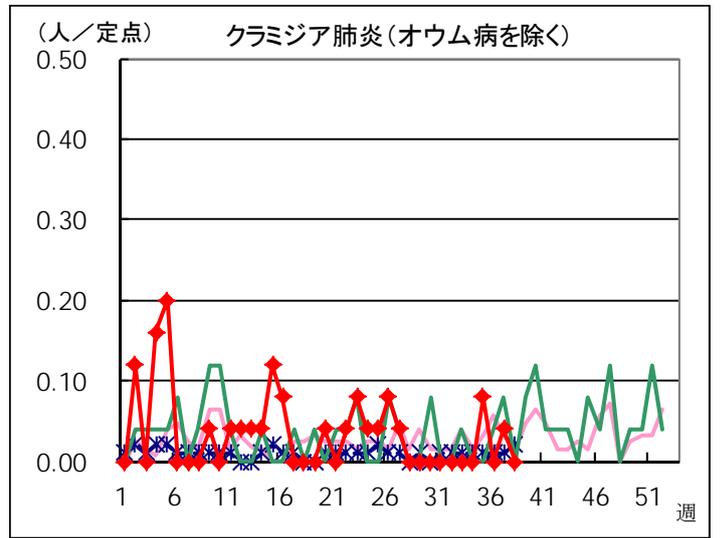
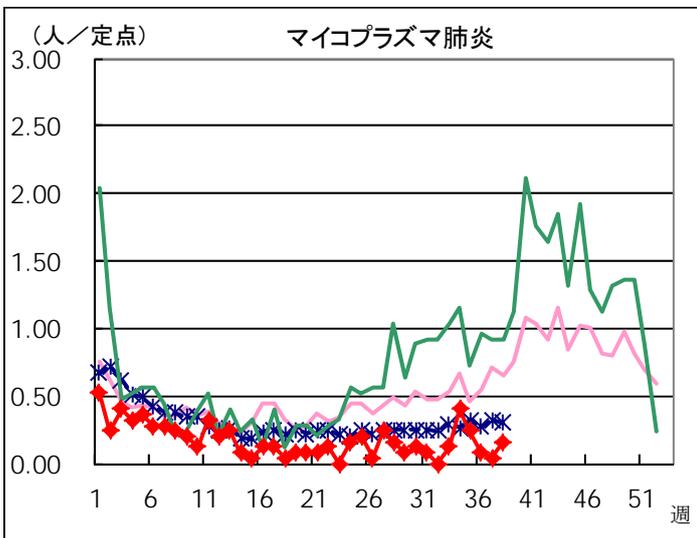
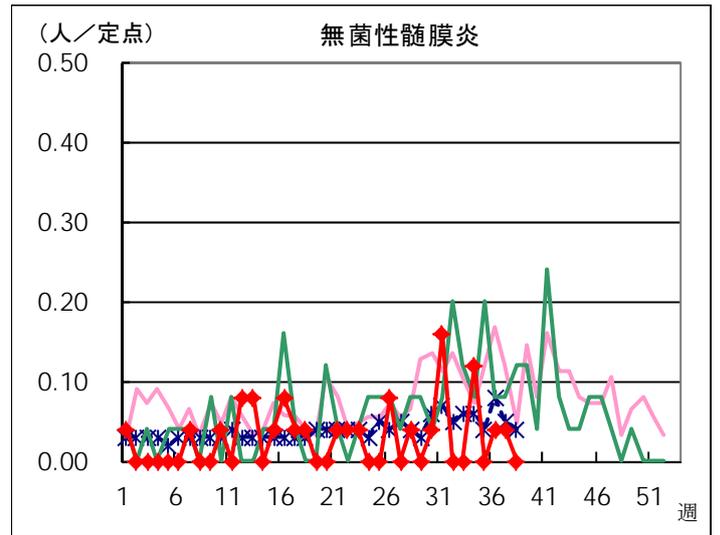
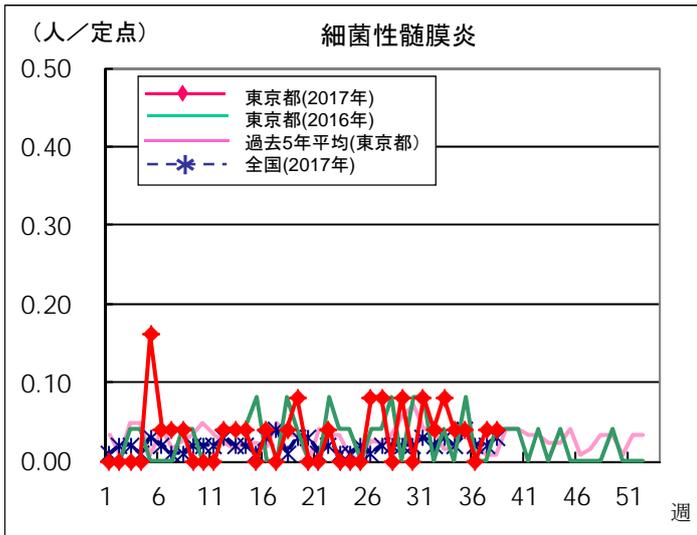
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
8/29	突発性発しん	1	咽頭拭い液	エコーウイルス9型
8/30	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
8/31	咽頭結膜熱	3	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
8/31	手足口病	1	咽頭拭い液	エコーウイルス18型
8/31	不明発しん症	8M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
9/1	インフルエンザ	3	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1pdm09 [※] アデノウイルス
9/4	感染性胃腸炎	1	直腸拭い液	ノロウイルスG II
9/4	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
9/4	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
9/4	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型 ヒトヘルペスウイルス6型
9/4	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型 ヒトヘルペスウイルス6型 ヒトヘルペスウイルス7型
9/4	突発性発しん	8M	咽頭拭い液	エコーウイルス9型
9/4	不明発しん症	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
9/4	不明発しん症	3	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型 ヒトヘルペスウイルス6型 ヒトヘルペスウイルス7型
9/4	流行性耳下腺炎	8	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
9/5	RSウイルス感染症	5M	咽頭拭い液	RSウイルスA型
9/5	手足口病	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型
9/6	不明発しん症	12	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB群2型
9/7	ヘルパンギーナ	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群10型

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2017年36週	2		1	
2017-2018年 シーズン累計*	2		1	

* 2017-2018年シーズンの開始は第36週(2017年9月4日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2017年							
	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週
アデノウイルス	1	1	1	2		1	1	2
コクサッキーウイルスA群	7	10	7	4	2	3	7	9
コクサッキーウイルスB群								1
エコーウイルス					1		2	3
エンテロウイルス71	1	1	1	1	1	2		1
その他のエンテロウイルス	1	2						
ライノウイルス	1	1	2	1		1		
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス	1					1		
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	6	5	5	2		2	2	5
EBウイルス						1		
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス		2					1	1
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス						1	1	
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス	1	2	1	2		2	1	1
ノロウイルス			1					1
ロタウイルス			1					
サポウイルス						1		
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型	1		1		2	2	1	1
インフルエンザウイルスB型					1		1	
インフルエンザウイルスAH1pdm09			3		2	1	2	2
その他のウイルス	1	1	1					
A群溶血性レンサ球菌T-1型		1						
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型						1		
A群溶血性レンサ球菌T-12型		1						
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			2					
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ			1					
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2017年29週～2017年36週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	10	8	5	13	5	51		8		5	10	2	22	23	14		3		20	1	
アデノウイルス		6												1			2				
コクサッキーウイルスA群					2	37				4		1	5								
コクサッキーウイルスB群													1								
エコーウイルス						1		3					1							1	
エンテロウイルス71						6														2	
その他のエンテロウイルス						1							1							1	
ライノウイルス		1			1	2									2						
ヒトメタニューモウイルス																					
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス					2																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		2				13		2							10						
EBウイルス											1										
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス											4										
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風しんウイルス						1								1							
ヒトパルボウイルスB19																					
RSウイルス	10																				
ノロウイルス				2																	
ロタウイルス				1																	
サボウイルス				1																	
インフルエンザウイルスAH1亜型																					
インフルエンザウイルスAH3亜型																8					
インフルエンザウイルスB型																2					
インフルエンザウイルスAH1pdm09																10					
その他のウイルス				1												2					
A群溶血性レンサ球菌T-1型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-3型																					
A群溶血性レンサ球菌T-4型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			2																		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																					
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																					
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					1
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

<感染症豆知識>

厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業の有効活用

院内感染対策サーベイランス（JANIS）は、参加医療機関における院内感染の発生状況や、薬剤耐性菌の分離状況および薬剤耐性菌による感染症の発生状況を調査し、院内感染対策に有用な情報提供を目的として平成12年7月に事業化された。平成19年4月に改正医療法が施行され、全医療機関は院内感染対策のための体制確保が義務付けられ、同年7月にJANISは新システムに移行している。

情報はJANISのホームページ（<https://janis.mhlw.go.jp>）で公開されている。参加医療機関それぞれのデータを集計・解析した情報は、参加医療機関専用サイトから還元されており、部外者は閲覧できない。しかし、全参加医療機関のデータをまとめた集計・解析情報は、検査部門、全入院患者部門、手術部位感染（SSI）部門、集中治療室（ICU）部門、新生児集中治療室（NICU）部門の5部門別に、年報および四半期報または半期報（NICUは年報のみ）が全国（全体と病床数別）および都道府県別（2015年）に一般公開されている。

検査部門の2015年年報をみると、全国では1,435医療機関（全医療機関の17%）、東京では120医療機関（同19%）が集計対象となっている。薬剤耐性菌のうち、分離患者数が最も多かったのはMRSAで、集計対象の全医療機関でMRSAが分離されているがVRSは分離されていない。

各医療機関でJANISのデータを有効活用するには、JANISのデータ提出・活用のための説明会に出席し、※各自治体の衛生主管担当へ参加申し込み手続きを行う必要がある。平成29年9月現在（締切日は自治体により異なる）、平成30年1月から参加する医療機関を追加募集中である。

（文責 国立感染症研究所客員研究員 山下和予）

※東京都申し込み窓口及び締切日

東京都福祉保健局医療政策部医療政策課

今年度の申し込みは9月15日で締め切りました。